

事業所名		児童デイサービス・アニマートさのStudy				公表日	令和7年 3月 1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8			学習に集中できるように、学習スペースと交流スペースをバーションを使い対応しております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		法令の配置基準を満たしております。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1		ほぼ平で車いすでも通ることができるが、トイレの入り口に段差がある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8			毎日の清掃、お子様が触れるところは、消毒をすることを行っております。また日々換気をしながら、感染予防対策をおこなっております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		必要に応じて、お子様のクールダウンの場所として相談室を使用できるようにしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		毎日の打ち合わせ時に、お子様の様子や活動の気になる点や改善点を話し合い、よりよい療育を心がけております。	毎日の打ち合わせや職員会議、支援会議等で話し合いの場を多く設けながら、目標設定や振り返りを行っております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			保護者様からのご意見やいただいたアンケート結果に真摯に向き合い、職員間で情報を共有し、業務改善を行ってまいります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8			苦情申出窓口を入口付近に設置しております。また、それぞれの規定は、相談室に掲示しております。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		会社主催で全国の事業所の児童指導員研修や管理者研修が毎年行われています。	児童指導員研修や管理者研修が毎年行われております。研修を受けた職員が職員会議等で、全職員周知して業務に努めています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		今年度から、支援プログラムを作成しました。	新学期に改めて保護者様に支援プログラムを説明し、周知して参ります。法人のホームページ内に公表させていただいております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		半年に一度、保護者様とモニタリングを実施しアセスメントの変更と確認を行っています。	初回ご利用にあたって契約時にこれまでのお子様の様子を伺っております。相談支援員と必要な情報を共有し、お子様と保護者様のニーズが適切に反映させるように努めて参ります。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		職員会議等で日々の様子を情報共有をしています。	保護者様とのモニタリングを行い職員会議等でお子様の様子について話し合い、共有理解をして目標や支援内容の検討を行っております。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		日々のお子様の記録をしています。	毎回、療育後に職員がその日のお子様の様子や活動の取り組み等を記録しております。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		6年生を対象に中学校に入学に向けての不安なことや準備することなどを、Studyを卒業した親子に協力していただき、保護者会を開催しました。	今後も保護者様やお子様の不安や困りごとに応じて、家族支援を行うように努めて参ります。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		月に1回の活動会議を実施し、各担当職員を中心に意見交換をしています。	制作、ソーシャルスキルトレーニング、運動、MIMアセスメント、聞くトレーニングをお子様の状態に合わせてめあてを明確にし、立案しております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		ねらいを明確にし、楽しく活動に参加できるように工夫をしています。	制作では、微細運動を意識した活動を取り入れています。運動では、微細運動と粗大運動をルールを守り楽しく体を動かしています。ソーシャルスキルトレーニングは、対人関係スキルや意思決定支援をおこなっております。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			お子様に合わせて、学習や活動に対する支援目標と余暇を大切にコミュニケーションや社会性を学ぶ支援目標を作成しております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		特に配慮を要するお子様についても共通理解し、効果的に活動や支援ができるようにしています。	毎日、打ち合わせを支援前に行っています。活動内容の確認や役割分担、先週の様子を伝えることで適切な支援が行われるように励んで参ります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		来週の支援に必要なことを連絡ノートに記録し、共通理解を図っています。	退勤時間が異なるため、その日のうちにすべての振り返りは難しいので、全職員が共有できるように連絡ノートを活用しております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			支援後には、できるようになったことや次回配慮を要する点などを話し合い、適切な支援が行われるように努めて参ります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促す力を育てるための支援を行っているか。	8		買い物学習を行い、自分で決める活動を行っています。	段階的にはじまりの会で2択から好きなものを選ぶ経験をしています。その後、買い物学習などを通して、自分で選んで決めることの経験を増やしています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			必要に応じて、児童発達支援管理責任者が参加しております。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			児童発達支援管理責任者が中心となり、主治医や教育等の関係機関と情報共有をおこなっております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		管理者と学校との連絡を密にしているため細かなことにも対応できています。	学校に協力していただき、毎月の下校時刻をいただいております。また、各学校の連絡メールを登録させていただき下校時刻変更や行事など情報共有をおこなっております。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8			必要に応じて連携が取れる体制作りをし、スムーズに放課後デイサービスに移行できるように努めて参ります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	2		今後も研修にも積極的に参加をし、お子様の支援に繋げられるように努めて参ります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		8		個人情報への配慮を考えながら、必要に応じて検討して参ります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		8		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		毎回その日のお子様様を職員がお伝えしております。その際にはがんばったことやできるようになった事、また課題を共有しております。	保護者様が子育てに関する悩み等が相談できる家族支援も随時行っております。ご希望の場合は、管理者にお声がけください。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		お子様の支援に対する個人の家族支援と同世代のお子様を持つ保護者様でグループとなり、日々の子育ての悩み相談を行う家族支援を行いました。	保護者様からも定期的にグループの家族支援を開催してほしいとの要望が多くありました。今後は保護者様参加の支援プログラムを開催できるように努めて参ります。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			管理者・児童発達支援管理責任者が契約時に保護者様にわかりやすく丁寧な説明を心がけて参ります。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8				
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		毎回、個別支援計画作成時には保護者様とお子様様に内容を説明をし同意をいただいております。	保護者様やお子様様に寄り添いながら、ニーズに合わせた支援目標や内容になるように作成に努めて参ります。	
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		保護者様からリトムに書いてきた悩みごと、お電話、送迎時等に寄せられたことはなるべく早く対応できるように心がけています。	子育ての悩みは、送迎時、お電話等で早急に対応させていただきます。また、必要に応じては家族支援をおこなっております。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8		今年度は2回の保護者会を開催しました。参加した保護者様からは、有意義な保護者会だったとの声が多く好評でした。	参加した保護者様からは好評だったことから、今後は定期的に保護者様が集まれる会を開催できるように努めて参ります。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		入口付近に意見箱を設置してあります。	苦情に関しては管理者が随時、対応させていただいております。管理者が中心となり職員と連携し迅速に対応できるように強化して参ります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8		毎月、お子様の様子をお伝えするお便りと毎月の活動予定表を発行しています。	毎月、活動予定表とStudyだよりを発行し、お子様の様子をお伝えしております。また、長期休業中は、特別号を発行し活動の予定を詳しくお伝えしております。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			全職員に対して、秘密保持の厳守の徹底を図っていきます。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	1		買い物学習や社会性を養うための店舗で食事をするなど、地域住民の方々のご協力のもと充実した体験が行われました。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			職員間では、感染症や事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアルを使い研修を行っております。保護者様には年度初めの4月に緊急対応についてのおたよりをお配りしております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		長期休業中に、避難訓練を実施しています。	年に4回、避難訓練を行っております。春休みには、お子様と職員が避難場所まで実際に歩いて避難経路の確認をしております。水と非常食と防災グッズを備えています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8			契約時やモニタリング時に、保護者様に確認をして対応を伺い、職員と情報共有し対応マニュアルを作成しております。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		事務所、お菓子の保管場所、買い物に行く時 に持参できるようにアレルギーがある名簿を作成し掲示しております。	契約時やモニタリング時に、保護者様に確認しています。事務所に掲示し情報共有しお菓子を購入する時には成分表を確認し提供をしています。不安なときは、保護者様に事前に成分表を見ていただき確認しております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		月2枚は、職員が気が付いたヒヤリハットを記入するようにしています。	枚数を決めることで、職員間で小さな気づきが増えました。ヒヤリハット報告書の内容を全職員が話し合い情報共有し、安全に努めて参ります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		虐待防止委員会のもと事業所では、年に4回職員で研修を行いました。	研修を行うことで、日々の療育の見直しと早期発見に努めて参ります。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8			身体拘束にあたっては、緊急やむを得ない場合を除き禁止されていることや身体拘束を行わざるを得ない事態を想定した対応について、職員間で共通理解をしております。	